

需要増へ反転攻勢

LPG車特集

災害に強く、環境に優しく、経済性の面でも他燃料に比べ高い競争力を持つLPG車。しかし足元の需要は減少傾向を続けている。タクシード車の減車やガソリンハイブリッド車への転換に加え、直近は新型コロナウイルス感染症拡大が必要減に拍車をかけており、市場の持続的成長には新たな需要を生み出す仕組みづくりが急がれる。既存の市場を守り、さらに広げていくためのヒントを先進的な導入事例などから探りたい。

収納上の課題クリア

魅力再認 ガソリンから回帰

日の丸交通足立 東京、横山真人社長



シエンタハイブリッドはセダンタイプ用立体駐車場にも収納可能。燃費性能に加え若手も運転しやすい車両と評価して導入した

日の丸交通足立は5月、その前はガソリン車からタクシード車のLPGへの転換を進めていたが、燃料費削減と環境貢献を兼ねて、LPG車への回帰を決定した。現在は、LPG車への回帰を進めている。現在は、LPG車への回帰を進めている。現在は、LPG車への回帰を進めている。

被災対応面でもLPG車の優位性を再評価。10月までにトヨタ・プリウスα26台を、LPGハイブリッド仕様のシエンタハイブリッドを導入する。現在は、LPG車への回帰を進めている。現在は、LPG車への回帰を進めている。

み収納力も大幅に低下することが判明。現状のまま運用するには該当するLPG車がなく、やむなくガソリン車への転換を進めた。ところがガソリン車の稼働が増え、燃料費が増加した。

遊休車両を

自給体制整

浅野 保温 愛知県扶桑町、浅野野幸社長



車両は燃料費込みの格安で業務用レンタカーとして活用している。現在は、LPG車への回帰を進めている。現在は、LPG車への回帰を進めている。

5月から入れ替えを始めたLPG仕様のシエンタハイブリッドは、昨年導入した車両をさらに改良。荷室を広げたほか、台に増車。業務に活用するには、18年度の災害パル

熱絶縁工事業の浅野保温は年内をメドに、LPG車を活用した企業向けレンタカー業に乗り出す。現在は、LPG車への回帰を進めている。現在は、LPG車への回帰を進めている。



自立型スタンド認定制度 初年度スタート 全L協

全国LPガス協会(秋元耕一郎会長)は4月20日、独自認定制度「自立型LPガススタンド認定」の初年度認定27事業所を公表し、制度をスタートさせた。停電時に換気可能な発電機を保有するなど、災害時の事業継続が可能なスタンドを認定するもので、地域交通機関の維持や自動車を燃料として、事業全体のPRを図る。

所在地	事業所名
1 神奈川県横浜市	宇佐美商事丸山町スタンド
2 東京都北区	明治モーターガス
3 東京都足立区	ヤナギ
4 東京都世田谷区	東京日石オートガス
5 兵庫県宍粟市	三木ガス販売山崎工場
6 静岡県伊東市	マルキエナジーステーションLPG
7 茨城県阿見町	サイサン土浦LPGスタンド
8 兵庫県加西市	三木ガス販売加西工場
9 茨城県水戸市	ミトレン河和田営業所
10 千葉県船橋市	京成オートサービス滝台営業所
11 岡山県岡山市	岡山ガスエネルギー
12 香川県坂出市	横井石油坂出基地オートガススタンド
13 静岡県浜松市	エネジン高林LPGスタンド
14 滋賀県近江八幡市	東山近江八幡事業所
15 静岡県三島市	エネジン三島LPGスタンド
16 愛媛県松山市	エネロ
17 山梨県南アルプス市	日東物産
18 神奈川県綾瀬市	ENEOSグローブエナジー神奈川支店
19 愛媛県宇和島市	亀岡商店
20 東京都板橋区	日本オートガス城北スタンド
21 東京都江東区	江東南砂エコステーション
22 東京都中野区	東京無線オートガス協同組合
23 東京都足立区	クラスタ東京
24 神奈川県湯河原町	湯河原興業
25 茨城県ひたちなか市	エネアーク関東茨城支店
26 神奈川県座間市	エネサンス関東座間事業所
27 神奈川県横浜市	マルエイ 横浜支店

有事対応力を訴求

すそ野広げファン開拓



宇佐美雅彦委員長

全国LPガス協会スタンド委員会が自立型LPガススタンド認定制度を発売し、自ら第1号認定を取得した宇佐美雅彦委員長(神奈川県LPガス協会副会長、神奈川県LPガス協会副会長)は、認定制度への応募を呼びかけ、災害時の対応力を訴求している。認定スタンドの増加が、自動車用燃料としてのLPGガスが災害に強い燃料であるとの評価の確立につながっていくことを願う。



第1号の認定を受けた宇佐美商事丸山町スタンド

スタンドより堅牢なことなどから災害に強いとも言われるが、供給機能をより高度化するには停電時の電源確保が課題となる。認定制度は、停電時でも施設を操業できる出力の発電設備を有する前提に、見落とされがちだが、日ごろからのメンテナンスや、商用電源から非常用電源への切り替え方法などの周知教育も織り込んで設計した。認定スタンドには定期的な操業訓練を課しており、有事の際の施設稼働の確実性を高めることを目指している。認定スタンドの増加が、自動車用燃料としてのLPGガスが災害に強い燃料であるとの評価の確立につながっていくことを願う。

(第3種郵便物認可)